



秋季全国火災予防運動



『秋季全国火災予防運動』が令和6年11月9日から15日まで、全国一斉に実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

秋の
全国火災
予防運動
11/9~11/15

住宅用火災警報器交換のすすめ
10年たったら、
とりカエル。

藤崎ゆみあ

守りたい
未来があるから
火の用心

制作：一般財団法人日本防火・危機管理促進協会 後援：総務省消防庁 全国消防長会
このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

【住宅防火 いのちを守る 10のポイント】



～4つの習慣～

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

～6つの対策～

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
(出火防止)
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
(早期覚知)
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防災品を使用する。
(延焼拡大防止)
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。(初期消火)
5. 避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。(早期避難)
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問により、地域ぐるみの防火対策を行う。(共助)



住宅用火災警報器

『住宅用火災警報器』は、火災をいち早く察知し、音声や警報音で速やかに住人に知らせる機器です。

設置から長期間経過すると、電子部品の寿命や電池切れなどにより正常に感知しないことがありますので、住宅用火災警報器の機器本体は 10年を目安に取り替えましょう。

10年経ったら交換しましょう



2024 年度全国統一防火標語

『守りたい 未来があるから 火の用心』

